



発行：近畿長野県人会 会長 高坂昌利

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-800

大阪駅前第1ビル8F 長野県大阪事務所内

TEL 06-6341-8191 (代) E-mail:kinkinagano@gmail.com

編集：近畿長野県人会 広報部会

印刷：コア(株) TEL 06-6968-5534

本年度の重点活動・課題に取り組んでいます

近畿長野県人会会長 高坂 昌利

本年度事業計画の重点活動・課題について、担当部会で具体的な実施計画を作成し、会員の皆さんへ開催案内を送付するなど、順次取り組んでおりますが、最近の状況についてご報告いたします。会員の皆様の積極的なご参加、ご支援・ご協力をお願いいたします。

1. 親睦事業（親睦部会ほか）

①ふるさと訪問一泊バス旅行の開催

東信地区役員に企画いただき、10月17日(水)～18日(木)、別所温泉に宿泊し、野辺山高原などを訪問する一泊のバス旅行を開催します。6月に全会員に参加の案内をお送りし、40余名の申し込みがあり、参加者には宿泊先、観光・訪問先など詳細案内をお送りしました。

②同好会活動の継続実施

新しく7つ目の同好会「上方演芸の会」が発足し、7月23日(月)に14名が文楽を鑑賞しました。休憩時間に飯田市出身の三味線奏者・鶴澤清志郎さんとお会いし歓談しました。

同好会は世話人・幹事により自主的に運営されています。参加は自由ですが、参加する場合は必ず世話人に連絡してください。

(P.2に同好会一覧、P.3～4に活動報告掲載)



2. 新会員の入会促進（総務部会）

高齢化による会員の減少は喫緊の課題です。7月に「新会員の入会促進プロジェクト」を立ち上げ、北信、東信、中信、南信の各地区長がリーダーとなって取り組んでおります。

会員の皆様には、長野県出身者だけでなく長野県・信州大好きな友人・知人を掘り起こし新会員をご紹介いただくようお願いします。

(会員募集：P.15ご参照)

3. スポーツ大会・郷土代表の応援

①夏の全国高校野球大会（甲子園球場）

第100回全国高校野球選手権大会に 佐久長聖高校が出場、1回戦は旭川大高に勝利し、2回戦で高岡商業高に惜敗したが、県人会会員・関係者が多数アルプス席で応援した。

②全国高校軟式野球大会（明石球場ほか）

第63回全国高校軟式野球選手権大会には北信越代表として上田西高校が出場、1回戦・2回戦と勝利したが、準決勝では惜しくも敗退した。 (①②の詳細はP.13～14に掲載)

なお、年末には2つの大会が開催されます。

・全国高校駅伝競走大会 12月23日

・全国高校ラグビー大会 12月27日開会



- 社会見学会 -

田辺三菱製薬 史料館を見学!

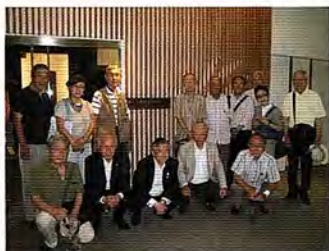
7月9日(月)午後3時30分から田辺三菱製薬史料館の見学会を開催しました。当日は猛暑の中、役員会と連動した時間の設定で、役員及び関係者26名が参加、2班に分かれて案内していただきました。

1678年大阪・土佐堀の地に合薬の製造販売を家業として創業され、1791年大阪・道修町に進出、創業以来300有余年、数多くの医薬品を創製し、世界の人々の健康に貢献してきた歴史を「薬の町道修町」「歩み」「今とみらい」の3つのゾーンに分けて歴史的資料の展示・映像による解説が有り、大変解りやすく勉強できました。

今回の見学は、当会顧問・田辺三菱製薬(株)土屋裕弘相談役からご案内をいただき、実現することが出来ました。お世話になりました皆様に御礼申し上げます。

見学後、役員会議の会場へ移動しましたが、道修町の神農さん(少彦名神社)に参拝してから会場に向かった役員もいました。

(高坂 昌利)



[同好会のご案内：幹事・世話人](敬称略)

◇ゴルフ同好会(みすず会)

会長：池田和正(松本市出身)

常任幹事：若林正伸(長野市出身)

連絡：06-6364-3313 若林正伸法律事務所
年2回(春・秋)ゴルフ大会を開催

◇ハイキング同好会

世話人：加藤信也(長野市出身)

連絡：072-761-6124

年3～4回開催、12月に恒例の酒蔵めぐり

◇カラオケ同好会

世話人：小林昭夫(小布施町出身)

連絡：06-6419-2886

会場：舞ひろ子の店「舞」(天神橋3丁目)
3月・6月・9月・12月の第1月曜日に開催

◇グルメ同好会

世話人：小林道明(長野市出身)

連絡：roy2234nakai@ares.eonet.ne.jp

すっぽん料理・本格イタリア料理など実施
次回は京料理を予定

◇大相撲愛好会

会長：小林道明(長野市出身)

世話人：中井良策(佐久穂町出身)

連絡：roy2234nakai@ares.eonet.ne.jp

大阪場所で観戦・御嶽海関を応援

打出し後「常の山」のちゃんこ鍋で懇親

◇麻雀同好会

世話人：遠藤正典(辰野町出身)

会場：大和クラブ(大阪駅前第1ビルB1)

連絡：masa-e@m3.kcn.ne.jp

偶数月の第2火曜日に開催

◇上方演芸の会

世話人：太田豊和(千曲市出身)

連絡：sqhtt204@yahoo.co.jp

上方の演芸、文楽・落語・歌舞伎
などの鑑賞

同好会の活動報告

今回、上方に伝わる演芸を鑑賞し親しむ会として「上方演芸の会」が発足しました。

[上方演芸の会]

◇第1回開催 H30.7.23(月)

第1回目の催しとして国立文楽劇場で夏休み文楽特別公演・第3部を鑑賞しました。

- ・参加者 14名 (男子8名、女子6名)
- ・演目 お染・久松の世話物「新版歌祭文」野崎村の段と八岐大蛇退治の「日本振袖始」
- ・世話人・太田豊和さんのお勧め

新版歌祭文の出だしは長野県飯田市出身の鶴澤清志郎さんの三味線で始まりました。両演目も解り易く義理人情に笑いが入り、大蛇退治は目でも楽しめ初めての方に喜んでいただきました。休憩時間には鶴澤さんが私服でロビーに現れ、県人会メンバーと歓談し、故郷信州の話に花が咲き鶴澤さんも大喜びでした。

今回はお会いできなかった若手人形遣いの吉田養之さんも飯田市の出身で、お二人の手ぬぐいをお土産にいただきました。

これからも文楽のほか上方の落語、漫才、歌舞伎等の鑑賞も企画しますのでご参加ください。



三味線の鶴澤さん
(中央・ネクタイ姿)
世話人の太田さん
(前列・ハッピー姿)

[麻雀同好会]

会場：大和クラブ (大阪駅前第1ビルB1)

◇第8回開催 H30.4.10(火)

- ・参加者19名 (男子15名、女子4名)
- 初心者2名には個人指導が可能となり、1時間メンバー交代4回戦を楽しんだ。(初参加3名)

◇第9回開催 H30.6.12(火)

- ・参加者18名 (男子15名、女子3名)
- 上半期大会として熱戦を展開、4回戦終了後、会場前の「まんがんてい」で表彰を行い、慰労会に移った。今回の優勝は大平文人さん。



優勝の大平さん(右)

◇第10回開催 H30.8.21(火)

- ・参加者18名 (男子14名、女子4名)
- 初参加者3名、4卓で熱戦を展開。役満の国士無双が出るなど盛り上がった。

*次回は10月9日(火)に開催予定

[カラオケ同好会]

会場：舞ひろ子の店「舞」(天神橋3丁目)

◇第18回開催 H30.3.5(月)

- ・参加者14名 (男子7名、女子7名)
- お店の手料理に舌鼓を打ちながら、参加者が少なかったので5曲披露するメンバーもいた。散会后、有志7名が「上海食苑」で恒例の小籠包を食し歓談した。

◇第19回開催 H30.6.5(月)

- ・参加者10名 (男子7名、女子3名)
- 初参加者1名。他の客と一緒にだったが、順番に1人4曲は歌えたか。最後にプロ歌手のひろ子ママの「別府の波止場」を聴き、全員で「信濃の国」を合唱してお開きとなった。



全員で「信濃の国」

[ハイキング同好会]

◇第16回開催 H30.4.3(火)

国宝 石清水八幡宮と背割堤桜一散策一

・参加者13名(男子8名、女子5名)

京阪電車八幡市駅に集合、徒歩で表参道を登り、エジソン記念碑-石清水八幡宮本殿参拝-展望台で休憩。ケーブルで下山し、木津川、宇治川の背割堤の桜のもとに。満開が過ぎていたが、花吹雪が舞い川面にも浮かぶ。河川敷に座って日本酒・ビールで乾杯。昼食後、酔い覚ましを兼ね淀川合流点まで往復。駅に戻って解散した。



背割堤の桜を背景に

[ゴルフ同好会・みすず会]

◇春季大会 H30.4.24(火)

・参加者13名(男子11名、女子2名)

昨秋の大会が雨で中止となったので1年ぶりに泉南カンツリー倶楽部で開催した。初参加者が3名、4組に分かれてスタート。途中から雨模様となったが無事18ホールを回ることができた。終了後、池田会長から優勝者に賞品が渡され、初参加者の自己紹介もあって交流した。

[成績] (敬称略)

優勝 別府哲夫 G 102, H 28.8, N 73.2

2位 中村紘一 G 108, H 33.6, N 74.4

3位 武田啓嗣 G 94, H 19.2, N 74.8

次回10月23日(火)池田カンツリークラブで開催



優勝の別府さん(右) 池田会長(左)

[グルメ同好会]

◇第9回開催 H30.8.1(水)午後6時~9時

・レストランテ・イタリアーノ「コロッセオ」

(大阪市中央区南船場3 大阪農林会館B1F)

・参加者12名(男子10名、女子2名)

イタリアワインと本場イタリア料理のディナーコースを楽しんだ。旬の食材を活かした料理はイタリア政府が「正統」と認めるだけあって美味しく、ワインも進み、話が弾んでお開きが午後9時になった。



「コロッセオ」でイタリアンのディナーコース

[大相撲愛好会]

大相撲春場所(大阪場所)で御嶽海関を応援

3月14日(水)大相撲春場所の4日目、関脇御嶽海関の応援に27名が集まり、熱い声援を送った。今回は小結・逸ノ城関を寄り切って3勝1敗とした。勝った途端に万歳をした。

打ち出し後20名がちゃんこ鍋「常の山」に集合して、御嶽海関の勝利に乾杯、地鶏ちゃんこ鍋を愉しみ、会話が弾んだ。

名古屋場所で御嶽海関が初優勝をかざる!

7月8日から開催された大相撲名古屋場所で関脇御嶽海関は初日から白星を重ね、14日目に栃煌山関を破って幕内最高優勝を決めた。長野県出身者としては初めての快挙!



「常の山」でちゃんこ鍋

近隣長野県人会トピックス

[兵庫県長野県人会]

総会及び懇親会を開催

4月29日(日)11時30分から平安閣で来賓・会員19名が出席、総会・懇親会が開催された。

総会は、29年度の事業・会計報告、30年度事業計画・予算案が承認された。

懇親会は矢島利久副部長・事務局長の司会で、赤羽嘉紀会長の挨拶、来賓の長野県大阪事務所山下武喜所長、信濃毎日新聞名古屋支社中澤勉支社長、有賀一夫京都長野県人会長の挨拶に続いて近畿長野県人会高坂会長の乾杯で宴がスタート。ビンゴゲーム、ハーモニカ演奏による童謡・唱歌など楽しんだ。(高坂昌利会長出席)



[京都長野県人会]

定時総会・懇親会を開催

5月13日(日)11時から京都東急ホテル1階「鞍馬の間」で来賓・会員約50名が出席、開催された。有賀一夫会長挨拶、来賓挨拶の長野県太田寛副知事が長野県の近況など紹介された。

総会は冒頭、副会長として尽力された故船坂昭夫氏を偲んで全員で黙祷した。議事に入り、29年度事業報告・収支決算報告、30年度事業計画・収支予算の全てが承認された。終了後、相澤春美副会長から新入会員の紹介があった。

懇親会は山田孝久事務局長が司会、甘利譽司三副会長の開宴挨拶の後、長野県大阪事務所山下武喜所長が乾杯の音頭をとって宴に移った。

宴が進み、恒例のカラオケタイムでは会員が自慢の歌を披露。最後に本木喜幸副会長の閉会の辞でお開きとなった。(高坂昌利会長出席)



[淡海長野県人会]

総会・懇親会を開催

新会長に清水晃副会長(信濃町出身)

6月24日(日)11時からクサツ・エストピアホテルで、来賓・会員30名が出席、開催された。

総会では、29年度事業報告・収支決算報告、30年度事業計画・収支予算案が承認されたあと、役員改選があった。小林圭介会長が顧問に就任、清水晃副会長が会長に、太田義明理事が副会長・事務局長に選任された。

懇親会は、太田副会長の司会で進行。清水新会長の挨拶のあと長野県大阪事務所山下武喜所長が挨拶、乾杯のあと祝宴に入った。

今回は徳田亜由美・直美さんによるピアノ演奏とソプラノ歌唱があり、会員が聴き入った。会場には会員の作品(ちぎり絵、仏像彫刻など)が展示・披露されていた。(高坂昌利会長出席)



[在広島信州県人会]

総会・納涼会を開催

新会長に篠原道正副会長（佐久穂町出身）

7月28日（土）午後5時から広島市文化交流会館2階「ルミエール」で来賓・会員約30名が出席、開催された。

総会は金行悦子副会長の司会で進行。29年度事業報告・収支決算、30年度事業計画・収支予算案が承認され、役員改選で小林計夫会長が参与に就任、篠原道正副会長が会長に、斎藤優子理事が副会長に、新理事に1名が選任された。

納涼会は斎藤副会長の司会で始まった。篠原新会長の挨拶に続いて来賓の長野県大阪事務所山下所長、近畿長野県人会の高坂会長が挨拶、名古屋長野県人会高橋春光理事の音頭で乾杯、宴会となった。

宴が進んでカラオケタイムでは「みんなで楽しく歌おう！」と信州ゆかりの歌の歌詞を配布、テーブル毎に舞台上がり、選曲した歌を順番に歌った。（高坂昌利会長出席）



京都・鴨川納涼2018

猛暑の中8月4日（土）、5日（日）に「鴨川納涼2018」が開催された。

日中38度を超える京都で、鴨川の川面を渡る風が涼しく、鴨川右岸の三条～四条の遊歩道には夕涼みを兼ねた人々で溢れていた。

鴨川納涼実行委員会の主催、「京都ふるさと

の集い連合会」の各県ブースでは、ふるさとの特産物・名物料理などを販売していて、外人観光客も多く、各地方の味を楽しんでいた。

今年も京都長野県人会からのご招待をいただき、近畿長野県人会メンバーも多数訪れた。長野県人会ブースでは、信州の特産品、りんごジュース、安曇野生わさび、南信州地ビール、信州のかりんとうなどが売られており、隣には駒ヶ根観光協会が初めて出店、ソースかつ串、地ビールなどを販売して賑わっていた。



6県合同「桃」販売 開催

毎年恒例の6県合同桃販売が8月1日（水）と2日（木）の2日間、大阪駅前第1ビル地下2階の特設コーナーで開催された。

各県自慢の桃を1玉ずつ箱詰めして、6玉入りは2,300円、5玉入りは1,800円で販売。6玉の詰め合わせは好評で、11時の販売開始と同時に2～3セットまとめて購入する常連さんもいて、昼休みには完売になった。



県人会メンバーが販売

長野県酒造組合主催 「2018長野の酒メッセ」開催

4月16日(月)大阪新阪急ホテル2F紫の間で「2018長野の酒メッセ」が開催された。

大阪では5回目の開催で、今回も長野県酒造組合の要請を受けて個人会員・法人会員に案内チラシを送ってPRした。長野県内の酒造メーカー54社が参加。各社のお酒が試飲できるので、一般来場者は2,000円でも、先着1500名には「信州産なめ苺びん詰」のプレゼントがあり、大勢で賑わっていた。



県人会メンバーは、会員と家族、友人など20余名が参加、入口で「オリジナルグラス」を受け取り、目指す銘柄のお酒を試飲した。ふるさとの味、信州そば・おやき・おにぎり(3点チケット付き)や、テーブルに出された野沢菜漬けやサラミソーセージをつまみに、今錦、真澄、七笑、若緑、黒松仙醸、大雪溪、大信州、神渡・・・と試飲して回り、蔵元の方との会話を楽しんだ。(高坂昌利 記)



ストラディバリウスの真贋 白井 彰彦

天才少女として一世を風靡した諏訪根自子が、1936年16歳でベルギーへ留学し、戦火の中をフランスを経てドイツへ移り住み、そこで演奏活動をしていた。その時ナチス・ドイツの宣伝相(後に首相)ゲッベルスからストラディバリが作成した名器ストラディバリウスが彼女に贈呈されました。ドイツの日本大使館でゲッベルスから直接彼女に手渡されている写真が新聞に掲載され大ニュースとなりました。それ以来ストラディバリウスという名が日本でも広く知られるようになり、数億円もする高価なバイオリンとして認識され有名になりました。彼女が亡くなった後、例のストラディバリウスはどうなりましたかという質問に対し、彼女の妹の諏訪晶子(国立音大教授)は「アッ、あれね、よく調べたら真っ赤な偽物で只のガラクタだったのよ」と平気で答えたそうです。ドイツ国民から贈呈された物を偽物と言わざるを得ない何か特別な理由でもあったのでしょうか。

もう一つ日本でストラディバリウスの名を有名にした事件があります。高名なバイオリニスト辻久子が1973年に西宮の自宅を売却し、当時3,500万円(現在で数億円)のストラディバリウスを近鉄百貨店で購入したというのです。購入して1ヶ月も経たない内に、あれは偽物だと新聞に書き立てられました。その理由とは、鑑定書には1703年製と明記されているが、バイオリンは1715年製となっている。辻褄が合わず、双方とも偽物というのです。

実は私も1986年にロンドンの競売所で1729年製のストラディバリウスを落札しました。

「それは偽物だよ、幾らで競り落としたか知らないが、貧乏人が高価なバイオリンなど

買えるはずないよ」と人は私に言います。私は彼らに向かって反論したい「本物を見たことも、触れたことも、音色を聴いたこともないような者に真贋など判断する資格はありません。増してや札束の高さを真贋の判断基準にするような人達を相手にできません。真贋とは、製作後300年を経た木やニスの経変具合や、ネックの握り具合や、f孔の型と位置や、スクロールの巻き具合や、音色特にG線の高音部の響きなど、化学的・物理的にもっとハイレベルな角度から判断するものです。まず本物に触れてじっくり見て下さい。話はそれからにしましょう」と。最終的には音色が勝負だと思います。

今まで私に守られ、強気で優位に押し切ってきた私の愛器は、今世間の喧騒をよそに貸金庫の中で静かに眠っています。(上田市出身)



ふるさと松代と一族 海沼 喜邦

私の故郷は千曲市の稲荷山です。鉄道が敷かれる迄は大変栄えた町だったそうです。今でも大きな屋根瓦の商家などに面影が残っています。稲荷山には大きな呉服店が6軒もあり、なかでも山丹(やまたん)呉服店が三州(甲州・上州・信州)一番の呉服店と言われています。祖父友太郎は商人になりたくて松代(長野市松代町)から稲荷山に来て働き、山丹呉服店の第一番頭として活躍しました。とてもやり手で人情家だったと母から聞きました。

松代の海沼家からは本家を同じくする海沼実(童謡作曲家)が全国的に有名です。平成22年松代イヤー実行委員会が作成した「近代日本に足跡を残した松代びと」として海沼本家の海沼房太郎が海沼実と共に顕彰され、それぞれ案内看板が立っています。海沼房太郎は富岡製糸場で学び、日本初のフランス式民営製糸場「六工社」設立に参加、多くの製糸用蒸気器械を開発し松代の製糸業を飛躍的に発展させました。海沼家にこんな凄い先輩がいたことに嬉しく、誇らしく思いました。

また松代には親戚の常田(ときだ)家があります。小さい頃父に今日は殿さんの家に行くからついてこいと言われて行った家が常田家でした。【初代の常田出羽守隆永は真田弾正忠(だんじょうのじょう)幸隆(真田中興の祖・昌幸の父)、矢沢薩摩守頼綱(沼田城主)の弟で、三家は六文銭が家紋です。】

このように小さい時から馴染みのある松代で高校生活を送り、しょっちゅう屋敷に行き遊んだり食事をご馳走になったり、おじさん・おばさんに可愛がってもらいました。こんなことで、祖父・祖母の出身地の松代が私の第二の故郷になりました。

常田家も「近代日本に足跡を残した松代びと」として常田任太郎(じんたろう)が顕彰され、表門に



案内看板が立っています。彼は勝海舟と親しく、明治政府の海軍省に入省し、大型船高砂丸を建造、舞鶴軍港新設や後に軍艦武蔵建造にも携わったと聞いています。麴町にあった400坪の江戸屋敷は弟の御亀(おき)が継ぎ、宮内省に入省、明治天皇の侍医として活躍したそうです。

平成22年の「ふるさと松代人物館」のリーフレットで海沼一族、常田一族のことが良く分かり、感謝です。一族の先輩達を誇らしく思うと共にあまり重荷にせず、子供や孫にも理解してもらい語り継いでいってほしいと思っています。

(千曲市出身)

私のふるさと伊那谷・伊那市

伊藤 道男

「影か柳か勘太郎さんか伊那は七谷糸ひく煙り」また県歌「信濃の国」では「松本・伊那・佐久・善光寺4つの平は肥沃の地」と歌われた伊那市が私の生まれた故郷です。伊那市は西に中央アルプス、東に南アルプス、真中を天竜川が流れる何もない町ですが、春には桜で有名な高遠公園、夏には東西のアルプスへの登山の人達で賑わっています。

また秋にはりんご、梨、ブドウなど沢山取れます。冬には寒天や日本酒を作る人もいます。明治・大正・昭和30年代までは養蚕も盛んに行われて製糸工場も多く有ったようでして、私の母も若い時には製糸工場で働いていたそうです。仕事は大変きつかったけれども給金も沢山出たようです。母がよく話していました。私達も子供の頃、5・6月は養蚕と田植えでよく働かされた事を思い出します。

伊那は四方を山に囲まれているので関西方面に出て来るのには中央自動車道が便利です。私がJR飯田線から東海道線に乗り換えて神戸に出てきましたのは60年前、昭和34年8月の

事です。神戸に来てまず感じた事は、とにかく暖かい事でした。最初に働いた会社は有名な家電製造会社の下請け会社です。当時は家電の売上が続いた頃で仕事はすごく忙しく残業も多く大変でしたが、その分給金も多く少しはうれしく思った様な事でした。その会社も10年ぐらいで退社して、その後停年までガソリンスタンドで働き、その後はアルバイトなどしながら、また県人会にも入会して楽しく過ごしていましたが、4年前に病気で4か月入院したため、静かに息をしている様な生活です。

それでも今年もまたお盆に長野に帰って来ました。姫路駅より新幹線に乗り名古屋駅から中央線で木曾福島駅へ、迎いの車で権兵衛峠を越えて伊那まで4時間、車窓より見える木曾谷の稲穂は大分色付いて秋の近さを感じました。また権兵衛峠より見る伊那谷、雄大な南アルプスの山はやはり長野は良い所と思いました。

今年は少し時間があつたので、近くの上伊那郡宮田村の中越遺跡公園を見てきました。古代より長野県は科野(シナノ)の国と呼ばれて大変栄えた所だったようで、沢山の古遺跡が残っていると思います。皆様方の町村にも有ると思いますので一度探してみてください。

古代科野の人達も頑張った様に、現在の長野県人会の皆様、私も病気に負けない様に頑張っ
て行こうと思っています。もう一度大阪の県人会に行こうと思っています。

やはり伊那はイイナーと思っています。

(伊那市出身)



南信州くだもの里 松川町への想い 部奈 久能

私は大阪で生まれ育ちましたが、松川町生田の部奈の里へは幼い頃より父に連れられ毎年墓参りに帰省しておりましたので、大変親しみを感じる場所です。部奈の里は、天竜川と小渋川が合流する東側、標高約600mの丘の上に位置し、地元の方は「東京スカイツリーと同じ高さの場所だに」と言われており、快晴の日は南アルプスの山々が一面に広がる美しい風景に出会えます。今では米作・果樹栽培なども盛んな場所ですが、江戸時代後期までは乾燥した火山灰で覆われた場所でした。水源を求め、私の祖先をはじめとする人々は、約120km離れた大鹿村から想像を絶する難工事の末、4年の歳月を掛けて引水に成功したのでした。

このような歴史を知り、私は部奈の里や松川町がいつまでも元気な場所であってほしいと思っておりました。そんな時、昨年7月の読売新聞に松川町のりんごシードルの記事が掲載されているのを読み、地元の方へお聞きしたところ、農業就労人口の減少などの問題もあり大正4年から続く果樹栽培を活かすため、平成28年に「南信州松川町りんごワイン・シードル構造改革特区」として認定されたことを知りました。町内15果樹園が中心となり、風味などに工夫を凝らして委託醸造したシードルやりんごワインを普及促進するため「松川りんご・ワイン振興会」を立ち上げ、町と協力し進められているとのことでした。

そこで私にも関西から応援出来る事がないかと思ひ、近畿在住の長野県の方にご協力いただこうと、1月の県人会新年懇親会でシードル・ワインをご紹介させていただき次第となりました。その時の皆様方の温かいお心遣いに町の方も大変感謝されておりました。また、関西の多くの方にシー

ドル・ワインに親しんでいただく機会として、大阪ガスッキングスクールで、シードル・ワインと町産の果物（りんご・桃・貴陽等）、豚肉、野菜（カブリエル）、蜂蜜などの食材と合うメニューを企画いただき、8月3日～18日の週末に流屋橋・神戸で計6回の料理講習会を開催しました。約140名の方が参加され、町の食材、シードル・ワイン、町の魅力に大変興味を持たれて、「是非一度行ってみたい」「購入してみたい」などのご意見もいただき盛況に終わる事が出来ました。8月17日には、長野県大阪事務所山下武喜所長様にもご見学いただきました。10月13日には、松川町中心に南信州シードル列車（天竜峡駅～伊那市駅往復）が運行する予定です。私は今後とも、信州が元気になるように微力ながらお手伝いが出来ればと思っております。

(松川町出身)



「信濃」第100号への寄稿を！

会報「信濃」は昭和38年12月1日創刊され来年3月発行分が第100号となります。これを記念して会員の皆様の寄稿をお願いします。

- ・テーマ：自由(創刊当時の故郷の思い出・就職で故郷を離れた時の苦労など)
- ・文字数：500～700字
- ・締切：12月20日(木)
- ・送付先：事務局気付・広報部会宛

長野県大阪観光情報センターだより

長野県大阪事務所長 山下 武喜

新任ごあいさつ

この4月から長野県大阪事務所長として着任いたしました。

近畿長野県人会の皆様には、平素より当事務所の運営をはじめ故郷信州・長野県の発展のため多大なるご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。とりわけ故郷に関連した交流事業のほか全国高校野球選手権大会や全国高校ラグビー選手権、京都・広島で行われる駅伝の全国大会に出場する代表校や代表チームの応援など、県人会の皆様のご活動は私たち長野県民にとりまして大変心強く、また、関西における長野県関係者の大きな拠り所となっております。

さて、当事務所は関西から長野県内への観光誘客や企業誘致、移住促進、長野県産農畜産物の販路拡大等に向けた情報発信に取り組んでいるところでございますが、関西と信州・長野県は、将来的に伊丹空港と信州まつもと空港を結ぶ空の便に加えリニア中央新幹線や北陸新幹線等も整備されるなど、時間距離が大幅に短縮されることが期待されています。

当事務所といたしましてはこうした将来を見据え、関西の皆様へ信州・長野県をより身近に感じていただけるよう努力してまいりますほか、今年平昌オリンピックでの長野県選手の活躍や“信濃の国”が県歌に制定されてから50年の節目の年に当たり、県内はもとより各地の県人会等で“県歌 信濃の国”が大合唱されるなど、



山下所長

県の内外で信州・長野県が大いに盛り上がる年となっております。この勢いを次に繋げられるよう一生懸命頑張っておりますので、今後とも関西における信州・長野県の心強い強力な応援団としてお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、近畿長野県人会の今後益々のご発展と会員の皆様のご多幸とご健勝、ご活躍を祈念申し上げてごあいさつとさせていただきます。

祝！御嶽海 初優勝・上松町(あげまつまち)

大相撲名古屋場所で見事に長野県出身力士として初優勝を果たした御嶽海。今回は、御嶽海の出身地である木曾郡上松町をご紹介します。

◆おすすめスポット① 赤沢自然休養林

日本三大美林のひとつに数えられる赤沢自然休養林。樹齢300年、そこには雄大な木曾檜の世界が広がります。

また、かつて木曾谷の山林で活躍をしていた森林鉄道が当時の車両をそのままに赤沢美林を走り抜けます。清々しい風を感じて走る開放感をぜひ、お楽しみください。



赤沢自然休養林

◆おすすめスポット② 中山道 上松宿

上松宿は、古くから木の故郷として多くの仕事人と旅人を集めた活気と賑わいの宿場でした。今でも古い民家が軒を連ねる 懐かしい風情が佇み、往時の賑わいを偲ばせています。

グリーンシーズンから紅葉シーズンへ

朝夕に涼気を感じ、空が高くなると、彩り鮮やかな紅葉シーズンの到来です。標高差の大きい長野県では、9月下旬から11月中旬まで紅葉をお楽しみいただくことができます。



白馬八方尾根の紅葉

◆紅葉情報① 白馬八方尾根の紅葉

八方池まで続く八方尾根自然研究路に広がる白馬八方尾根。ゴンドラとリフトを乗り継ぐとあっという間に 標高1,820m地点に到着。

雄大な北アルプスの紅葉と 山々の稜々とした岩肌が間近に迫ります。圧倒的な スケールで広がる秋のパノラマをご堪能ください。

◆紅葉情報② 阿智村治部坂高原の紅葉

阿智村 昼神温泉から車で20分程にある治部坂高原。カエデやサクラの赤や黄色に色づいた葉と 常緑樹に混在したシラカバの白色のコントラストが目を引きま。

見頃は10月中旬から11月初旬で、期間中はライトアップが行われ、10月20日(土)、21日(日)には もみじ祭りも開催される予定です。

おいしい信州ふード・信州そば

風味豊かなおいしさで、全国のそば通をうならせる信州そば。10月には秋そばの収穫が行なわれ、年に一度の「新そば」の季節が到来します。

◆絶品！須賀川そば(山ノ内町)

オヤマボクチ(山ごぼう)をつなぎに使った全国でも珍しい十割そば。コシが強く、のどごしが良いのが特徴です。10月27日(土)、28日(日)には、新そばまつりが開催され、そば打ち体験や新鮮野菜の即売会なども行われます。

◆解禁！奈川の新そば(松本市)

10月1日(月)、奈川の新そばが解禁となります。11月上旬まで新そばまつりが行われ、標高1,200m地帯の清らかな水と空気ですくった風味豊かな新そばを楽しむことができます。もちろん名物とうじそばも堪能できます。

関東甲信越静7県の観光物産展開催

毎年恒例の 観光物産展。今年の開催予定は下記のとおりです。(今年は会場が変更)

◆開催予定

日時：平成30年11月17日(土)～18日(日)

会場：吹田市古江台「dios北千里」

内容：7県の特産品販売と観光PR

長野県ドクターバンクのご案内

長野県では、「ドクターバンク事業」により、医師の皆様のご希望に沿った 就業先をご紹介します。県人会の 皆様のご家族や お問い合わせの中に 医師の方がおられましたら、是非ご紹介いただきますよう お願いいたします。詳しくは、下記までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

長野県医師確保対策室 TEL:026-223-7106

E-mail:doctor@pref.nagano.lg.jp

第100回全国高校野球大会 佐久長聖高校が出場

申井 良策

1回戦 甲子園初のタイブレークに勝利！

第100回全国高校野球選手権大会で長野県代表の佐久長聖高校は2日目の8月6日に第4試合で北海道代表の旭川大高校と対戦した。

深夜1時に佐久市を出発した在校生・保護者会を中心に、球場に駆け付けたOBや関西出身選手が所属した羽曳野ボーイズ・生駒ボーイズの少年野球団に交じって、近畿長野県人会の有志30名が、計2,000人の応援団となって三塁側アルプススタンドで西日を浴びながら声援を送った。

佐久長聖は初回に2点を先制したが、2回裏に1点・3回裏に2点を取られて逆転された。8回表に2点を返して再逆転するが、9回裏に同点に追いつかれ延長戦に入った。10・11・12回はお互いに0点で決着がつかず、甲子園史上初めてのタイブレークとなった。

14回表、佐久長聖は1点を勝ち越し、その裏を0点に抑えて、2回戦に進出した。

途中からナイターになり、時計は7時を回っていた。県人会の有志7名が甲子園駅前の居酒屋で夕食を兼ねて祝杯を挙げた。



2回戦 9回の追い上げも及ばず

2回戦は大会9日目の8月13日、第2試合で富山県代表の高岡商業高校と対戦した。

一塁側アルプススタンドでは、深夜出発のバス18台で佐久市から駆けつけた在校生・保護者会・OBなど900名の応援団に、現地参加の佐久長聖ファンと県人会会員20名が加わり声援を送った。

佐久長聖は1回表から1死満塁と、プロ注目の高岡商左腕・山田投手を攻めたが、後続が倒れて先制のチャンスを逸した。

高岡商は1回裏に1点を先制、2回裏には2点、4回裏に2点を加えてリードを広げた。

佐久長聖は3回に1点、6回に2点と追い継り、3-5の2点差で迎えた9回には連打などで2死1・3塁から1点を返し、なおも1・2塁と一打同点まで反撃したがついに及ばず涙を飲んだ。

試合終了後、いつもの日吉食堂で有志9名が残念会・慰労会を開催した。(佐久穂町出身)



佐久長聖野球部選手激励訪問

8月3日夕刻、高坂近畿長野県人会会長と山下長野県大阪事務所長、筆者の3人は佐久長聖野球部の宿舎・アバヴィラホテル〈大阪谷町四丁目〉へ、7月31日から大阪入りして調整を行っている野球部選手を激励に訪れた。

激励会には小林部長・藤原監督・真銅主将・林投手・小山捕手・西藤三塁手が出席し、高坂会長・山下所長が激励の言葉と祝金・祝品を贈った。

藤原監督は「2年前は初戦敗退だったが、今年は終盤に追上げて競り勝てるチームが出来た。まず1回戦を突破したい」、真銅主将は「選手宣誓を

したくて立候補したが抽選で外れてしまった。

全員野球で一戦一戦を勝っていききたい」と語った。



第63回全国高校軟式野球大会 上田西高校が出場

中井 良策

筑陽学園を0封で1回戦突破!!

8月24日、第63回全国高等学校軟式野球選手権大会が開幕しましたが、台風20号の影響で、開会式は大幅に遅れて開催となった。

山下 長野県大阪事務所長、高坂会長 他2名が応援に駆けつけたが、電車が遅れて姫路・ウインク球場に着いた時には試合直前のシートノックが始まっており、和田先生・野球部長に場外に出て来ていただき、お祝金を贈り激励した。

対戦相手は北部九州：大宰府・筑陽学園、先発櫻井投手が8回を1安打に抑える好投で9回は矢嶋投手に継投し、打線は6安打で1点を挙げ、0封勝利で初戦を飾った。

2回戦は広島新庄に快勝!!

上田西の2回戦は8月26日、明石・トーカロ球場に県人会会員7名が応援に参加した。

相手は前日、大逆転勝ちの広島新庄、上田西は1回裏に打者8人で2点を先制。4回表には同点に追いつかれたが、その裏、死球のランナーを安打で返し、再リードを奪った。両チーム追加点が無く進んだ7回裏、相手の投守の乱れで2-6としてからの満塁に、両角捕手が走者一掃の3塁打で2-9とリードを広げた。8回表に1点を返されるが、3-9の快勝で、準決勝に進んだ。

試合終了後、有志6名が明石・魚の棚まで足を伸ばして「昼食を兼ねた祝勝会」を開き、声援によるノドの渇きを癒した。

準決勝の壁高し!

8月28日の準決勝戦、明石・トーカロ球場には県大阪事務所 赤岡次長と県人会会員の計7名が応援に参加した。

相手は 初戦で優勝候補の作新学院を撃破した大阪代表の河南(富田林)。上田西は1回・連打、2回・四球とバント、3回・四球と2塁打に死球、と毎回走者を出すチャンスを生かせず。4回に先制点を、6回に追加点を奪われた。8回には2安打で走者を出すが続を断られた。

一昨年の61回大会でも、準決勝で奈良・天理に涙を飲んだが、今回も準決勝の壁を破ることが出来なかった。三度目の正直を期待しています。

選手はもとより保護者会の皆さんも10日間に亘る明石への遠征お疲れ様でした。また残暑の厳しい中、応援に駆けつけていただいた会員の皆様ありがとうございました。(佐久穂町出身)



新会員を募集しています！

あなたの周りに長野県出身の方・
信州が大好きな方は居ませんか？

「近畿長野県人会公式ホームページ」には
懇親会・長野県代表校の応援・同好会活動
など最新情報を掲載しています。

同郷の人たちに会いたい、御嶽海関の応援
に参加したい…などを実現しましょう！

—事務局まで ご紹介・ご連絡下さい—

電話：06-6341-8191 FAX：06-6456-2889

新入会員の紹介（平成30年3月以降）

（敬称略：氏名・出身地＝紹介者）

玉城 正春（長野市）	＝太田 豊和
本木 喜幸（松本市）	＝高坂 昌利
藤牧 六男（松本市）	＝中野 源二
高柳 久子（下諏訪町）	＝増田 章隆
寺澤 孝（長野市松代町）	＝事務局
前川 仁美（松本市）	＝高橋 務
藤保 巖（家族会員）	＝藤保 君子
竹井 廣子（佐久市野沢町）	＝秋山 多喜子
松沢 安治（長野市若穂）	＝小林 昭夫
水谷 晶子（木曾郡木曾町）	＝安藤 隆雄

ご 逝 去（敬称略）

鈴木 強平（天龍村） 平成30年4月19日

鈴木強平氏は 常任理事、監事（監査役）
として、近畿長野県人会の事業活動に
ご支援・ご協力いただきました。長年
のご貢献に感謝申し上げますとともに、
謹んでご冥福をお祈りいたします。

会長 高坂 昌利

副会長会の開催

○平成30年5月24日（木）10時30分～

大阪市立総合生涯学習センター第5会議室
出席者 12名

(1)ふるさと訪問一泊旅行の開催について

・日程 平成30年10月17日（水）～18日（木）

・宿泊先 別所温泉 旅館・中松屋

・会費 33,000円

全会員へ案内を送付、参加者を募集した

(2)役員会の開催について

・日程、会場、議案について決定

(3)個人会員の入会紹介について

プロジェクトを立ち上げ、北・東・中・南信地区

ごとに活動計画を作成、進める

役員会・役員懇親会の開催

○平成30年7月9日（月）17：30～

スーパードライ梅田 出席者 34名

(1)ふるさと訪問一泊旅行への参加促進

役員率先参加および動員をお願いした

(2)個人会員の入会紹介について

4地区ごとに紹介活動を進めるので積極的な
取り組みをお願いした

今回、長野県大阪事務所 山下 武喜 所長に
ご出席いただき、新任ご挨拶と 観光情報PR
および長野県で勤務できる医師の紹介など協力の
要請があった。

役員会の終了後、懇親会に移り、同好会の活動
状況など情報共有と相互交流をはかった。

編集後記

今年の夏は、猛暑・地震・大雨・台風 と、
自然災害に いじめられています。会員の
皆さんは めげずに頑張っておられることと
思います。健康第一に、せいぜい ずく出し
て行こまいか！

（安藤 隆雄 記）

信州・長野県への移住に関することなら

大阪梅田の

長野県大阪移住・交流サポートデスクにご相談ください

お気軽に！

信州・長野県への移住やIターンをお考えの皆様の身近で気軽な相談窓口として、大阪市(梅田、大阪駅前第1ビル内)に『長野県大阪移住・交流サポートデスク』を開設しております。たくさんの皆様のご利用をお待ちしております。まずはお気軽にお電話をどうぞ。

場 所 〒530-0001
大阪市北区梅田1-3-1-800
大阪駅前第1ビル8階
(長野県大阪観光情報センター内)
電 話 06-6341-7006
ファクシミリ 06-6456-2889
相 談 時 間 月曜日～金曜日



午前9時30分～午後5時(土曜日、日曜日、祝日は休業)

※相談で来訪される場合は、事前のご予約をお勧めします

ご相談いただきました皆様へのサポートの一例

長野県内での「就業」や「移住」に関する相談

ご希望のライフスタイルに応じた移住候補地等の情報提供

Iターン登録のご案内と長野県内の求人情報の提供

長野県庁内の専門相談員「田舎暮らし案内人」や

長野県内の希望市町村の担当者へのおつなぎ



■お問い合わせ 長野県大阪事務所/長野県大阪観光情報センター

TEL: 06-6341-7006 FAX: 06-6456-2889

E-mail: osakajimu@pref.nagano.lg.jp

URL: <https://www.pref.nagano.lg.jp/osakajimu/index.html>